

時代のニーズや新しい発想の中から、次々と生み出される県産品の数々。
このコーナーでは、開発者の声と共に、新商品をご紹介します。

新ウチナームン紹介

VOL.14

スポーツミネラル



眞玉橋代表

選手の健康管理はミネラル食品から
沖縄のミネラル分がスポーツ界を変える

プロ野球のキャンプは、沖縄の春を告げる風物詩ともなっているが、そのキャンプ風景の裏方として、県産品が大活躍していることをご存知だろうか。合資会社スポーツミネラルが製造・販売しているミネラル食品「スポーツミネラル」である。

「スポーツミネラル」は、合資会社スポーツミネラルの眞玉橋麻紀代表が、料理中に黒糖と塩を手にしたことから思いついた商品。高校の野球部監督をしていた夫から、選手のけいれんや、熱中症で倒れることを聞いたことからだという。まさしく、主婦の何気ない視点が生んだ商品といえよう。

選手の健康管理を気にかけていた眞玉橋代表にとって、試行錯誤の上で生まれたこの商品は、夫の協力で、野球部の選手たちに商品を提供することから始まった。その結果、けいれんや熱中症の発生が全く起こらなかったことで、より自信をもつことにつながったという。

それからは、各学校を回っての営業活動を始めるのだが、一躍脚光を浴びることとなったのは、プロ野球球団の中日ドラゴンズからの注文が入るようになってから。体調管理が絶対的な条件となるプロ野球選手

やプロトレーナーからの信頼を勝ち取った「スポーツミネラル」は、現在では、県内高校の野球やバスケットボール、ハンドボール、駅伝、陸上各部の選手たちにも愛飲されるまでとなった。秋季キャンプで訪れている中日球団からも早速注文が入っているという。

「商品化した後も、試行錯誤を重ね、良い商品が生まれてきました。本土の大手飲料メーカーとの商談も進んでいますし、現在の工場では手狭になったので、中城湾港に工場移転の話も進んでいます」と語る眞玉橋代表。「愛飲して下さっている選手たちからは、『癖になる味だね』と言われているのですよ」と笑う。

ミネラルを豊富に含むことで知られ、評価の高いベンチャー高安「ぬちマース」を使用し、沖縄のまばゆい太陽の日差しを浴びて成長したサトウキビから生まれる黒糖を使用した「スポーツミネラル」。「キオスクやスーパー、コンビニなど、日本全国で手に入るような商品に成長させたいです」と力強く語る眞玉橋代表の言葉通り、健康県沖縄を代表するミネラル食品となること間違いなしのグッド商品である。

お問い合わせ先

合資会社 スポーツミネラル
所在地
〒904-2173 沖縄市比屋根1-11-17
TEL(098)930-5589
FAX(098)932-7820

尚、「スポーツミネラル」は、コープおきなわ、りうぼうストア、生活館、スポーツ店等でお買い求めできます



内容量：2.5g
お召し上がり方：直接口に含んだ後、水やお茶などの水分をお飲みください。

スポーツミネラル